

(新型コロナウイルス感染症対策のため書面にてご意見をいただきました)

1 学校評価結果について

- 各評価項目の結果について、的確に分析されていると思います。特に設問14の交通ルール遵守については、生徒・保護者と教職員の乖離が大きく、大変気になるところです。
- 設問8は生徒と保護者の差が最も大きかった項目であり、「4. そう思う」は生徒が72.8%に対し、保護者は12.9%となっており、59.9%の差でした。学校では積極的に清掃等を行っていますが、家庭ではそうはなっていないと読み取れます。本来であれば清掃等の躰は家庭で身につけるものであって、学校は補助的な役割でよいと思います。このような躰や日本人として大切な習慣を学校で指導頂けることは多くの保護者の方が感謝されていることでしょう。

さて、学校でできていることが、どのような理由で家庭では出来ていない生徒が多く存在するのでしょうか。この現象は掃除に限ったことではなく、生徒によっては自宅の玄関で靴を揃えない、自転車乗車時のヘルメット着用については高校生になると着用しなくなる。つまり中学校で教えられたことが身につけておらず、やらされているだけの行為になっているのではないのでしょうか。一方で、街中に目を移すと、自転車に乗っている大人はヘルメット未着用であることが多い。また、市内のある医院では下駄箱にすら入れない大人が大勢おり、散らかった他人の靴を踏んで靴を履いたり脱いだりするシーンを見て落胆させられたことが何度もありました。大人がこのような状態ならば家庭での躰を期待することは困難でしょう。

少し厳しい言い方になり申し訳ありませんが、先生方の努力が外側から「国分寺中学校が良く見える活動」に結果的に陥っていないのでしょうか。躰については幼少期から身に付けさせれば最も良いのですが、中学生ともなると心底納得しないと継続することは困難かと思えます。勉強も同じで本人が興味を持たない限り成績は上がりにくいでしょう。「学び・身に付ける」ためのスタートは「興味を持つ」ことだと考えます。また、ヘルメット着用については本当に着用が必要なら大人も着用すべきであり、それを中学校が発信する事は本来業務にそぐわないため具体的な方法については別の機関での議論が必要となるでしょう。とは言え無理やりやらされた躰でも、気が進まずに取り組んだ勉強にしても無駄なもの一つもないと個人的には思っています。学生時代に無理やり覚えた単語や年表も今になっては興味の世界を広げる大切な知識であると日本の教育に感謝しています。従い、無理やりやらされる掃除や靴並べも生徒さんたちが10年、20年後に自分の子供に同じことを教え、「国中では厳しく躰けられた」と振り返っているかもしれません。

「正しい教育」のゴールなどを見つけることは困難であり、常に振り返りながら、考えながら進んで行くしかないでしょう。次年度以降も皆様のご活躍を祈念致します。

- 生徒の熱意を感じます。とても良かったと思います。
- 学習習慣の関連としては、3の家庭学習の習慣が図られてきている点が評価できます。特に一番よく見ている教師の評価が高くなっている点がよいですね。保護者も家庭での学習の様子から判断していると思いますが、我が子の変容を感じているのではないのでしょうか。
- 5の項目は「読書」に絞って調査するとよいのかなと感じました。生徒の項目は、朝学と読書が入っています。2項目を一緒に聞いていることになるので、保護者と並べることがおかしくなります。同時に教職員への質問も、この時期に読書習慣をつけることは大切なことなので、重点として進めていくことが必要だと思います。
- 11の挨拶は、コロナ禍の中で大きな声では難しいとは思いますが、気持ちのこもった挨拶ができるよう指導をお願いします。
- 19の学校の様子を伝えているかについては、保護者の数字が上がってることはよかったですね。学校側の努力だと思います。生徒と保護者の会話も良好だと感じました。

- ・ 小中一貫教育の様子はよくわかりません。市や学区としての発信が必要かと思います。保護者だけでなく、広く地域への情報発信も必要ではないでしょうか。
- ・ 評価の内容をよく吟味して、次年度の学校経営計画に取り入れてください。保護者にとっては何のための学校評価だったのか、よくわかるように提示すべきだと考えます。より良い学校づくりのためにも保護者や地域の協力は必要です。
- ・ 学校業務も煩雑になっている現在、アンケートを web 形式で実施するのはよいと思います。
- ・ 令和3年度の学校評価のまとめ、平均点推移を拝見させていただきました。「良い学校」だと思います。
- ・ 項目16について。「先生は話を聞いてくれる」が、令和3年度の平均点推移は37点でした。生徒は保護者も先生も悩みや相談に親身になって乗ってくれていると思っています。生徒にとりましては、中学生の悩み多き思春期の時期に大変心強いこと、安心いたしました。生徒が先生を信頼している、学校が楽しいと思っていることも良い学校だと思われれます。
- ・ 学校評価の項目とは別に、他校の生徒に比べて、本校の生徒の実態、不登校、いじめ等他の問題行動を起こしている生徒がいるのか、いないのか？は見えずです。
- ・ この学校評価の結果を踏まえ、過去3年間の推移を分析して、今後ますます良い学校にしていくための取組、改善策を掲げ、実践し、ますます良い学校としての報告がいただければと思います。
- ・ 学校評価1, 2, 3の項目に対しての教師と生徒の評価の差は、生徒をほめる機会を失う可能性につながるように思います。また、先生方にも良い授業をしてくださっていると生徒が認めていることを励みにコロナ禍を乗り越えていただきたいと思います。
- ・ 学校評価5の項目については、R1→R3と三者ともに伸びていることは素晴らしいことと思う。この項目を国中学区の小中一貫の目玉としていくと良いのではないかと考える。先生方の努力が着実に実ってきていると思う。
- ・ 学校評価6の項目の生徒と教職員の評価の差は、発問の中にマナーについて問われているかどうかの吟味しておく必要があると思う。この項目は生徒の生活姿勢を認められるかどうか、重要な項目なので、ぜひ先生方で検討していただきたい。
- ・ 学校評価項目16, 17, 18の保護者の評価ののびは素晴らしく、先生方が合理的な配慮を実践なさっている証拠だと考える。一人一人に寄り添い教育を進められている先生方に敬意を表したい。その中でも、項目20の低評価の生徒と保護者に目を向け、学校外の協力も得ながら粘り強くご支援いただければよいお願いしたい。
- ・ 学校評価21, 22については、大切な項目が追加されたものとする。コロナ禍の中、小・中ともにできることを前向きに取り組んでいると思う。今後が楽しみである。

2 その他

- ・ プログラミング教育や英会話教育などの拡充により、国語力を維持、高めていくための教育がおろそかになっては困ります。「読み、書き」はもちろん、読解力や言葉による表現力を養うことは大人になるステップにある中学生にとって重要です。そのためには、今、読書の習慣を身に付けることが必要と考えます。
- ・ 技術の進歩により生活様式が大きく変化し、最近では流行病の影響もありリモート授業も当たり前になりました。情報源も新聞・TV から SNS や YouTube 等の動画配信へと変わり情報自体も玉石混淆ならまだしもフェイクニュースが溢れています。義務教育で必要なことは目先の変化ではなく「読み書きそろばん」＋「会話」、そして「物事に興味を持つ」習慣をつけることだと思います。興味を持って取り組めば道は開けるし、更に先が見えてくると思います。
- ・ 令和3年度 学校だよりいしずえ第14号の立志式の代表者の作文「奇跡をつなぐ仕事」の抜粋の文章を読んで感動いたしました。